

# まつやま 広報

|              |        |
|--------------|--------|
| ■ 市政特集       | 6・7面   |
| ■ 防災特集       | 2・3面   |
| ■ 市県民税が変わります | 5面     |
| ■ 市民ガイド      | 10・11面 |



発行：松山市役所／編集：総合政策部広報課／毎月1日・15日 ☎ 948-6705 FAX 934-2578 HP <http://www.city.matsuyama.ehime.jp/>  
 市勢 平成25年11月1日 現在推計(前月比) ■面積:429.06㎢ ■人口:516,678人(+164) ■男:241,215人 ■女:275,463人 ■世帯数:229,864世帯(+230) ■1世帯の平均:2.25人 ■人口密度:1,204人/㎢

## 大賞 受賞の声

受賞の感想は信じられないですが、心を込めて書いたので、認められてとてもうれいす。自分を支えてくれた人に感謝したいです。

「作品のテーマは「走ること」を通じて、自分の身近な体験、青春をテーマに書きました。リレーの素晴らしさ、仲間の素晴らしさを表現しました。出来上がった作品の分量が規定の1・3倍もあったので、添削が大変でした。

今後の目標は読んで爽快感、温かさを感じてもらい、一人でも多くの人に、いいと思ってもらえる作品を書いていきたいです。

桐りんごさん - プロフィール - 昭和56年生まれ。沖縄県在住。

## 第13回 坊っちゃん文学賞 桐りんごさんの『キラキラハシル』 大賞 受賞

テーマは、あなたの中に。



大賞の桐りんごさん(前列中央)、佳作の相川英輔さん(前列左)・仲村萌々子さん(前列右)、ほか最終ノミネート作品の作者(後列)

「第13回坊っちゃん文学賞」の審査発表と表彰式が11月5日、市役所で行われました。1060作品の応募の中から、大賞には桐りんごさんの『キラキラハシル』が、佳作には相川英輔さんの『日曜日の翌日はいつも』と仲村萌々子さんの『赤い黄信号』の2作品が選ばれました。

今回の坊っちゃん文学賞は国内外から1060作品の応募が寄せられ、選考の結果、8作品が最終ノミネートされました。審査発表・表彰式では審査員長の椎名誠さんをはじめ、審査員の早坂暁さん、中沢新一さん、高橋源一郎さんから大賞と佳作2作品の発表・講評があり、野志市長らから受賞者3人に表彰状などが贈られました。なお大賞作品は、マガジンハウス発行の情報誌『クウネル』2014年3月号(平成26年1月20日発売予定)に全文掲載されます。

### 第13回坊っちゃん文学賞 最終ノミネート8作品

|    |              |              |
|----|--------------|--------------|
| 大賞 | 『キラキラハシル』    | 桐りんご (沖縄県)   |
| 佳作 | 『日曜日の翌日はいつも』 | 相川英輔 (福岡県)   |
| 佳作 | 『赤い黄信号』      | 仲村萌々子 (東京都)  |
|    | 『桜と楓』        | 太田貴子 (香川県)   |
|    | 『ボクんちの卵焼き』   | 鹿島直哉 (鹿児島県)  |
|    | 『ママのしずく』     | 片倉エリナ (松山市)  |
|    | 『白線ダイヤモンド』   | 額賀澤 (東京都)    |
|    | 『かぐやパンダ』     | 山中真理子 (和歌山県) |

## 審査員講評

例年以上に活発な審査に選考では例年以上に活発な議論が展開された。今回の特徴は、スポーツがテーマの作品が多かったと思う。大賞作品もそうだが、小学生がリレーを通じて切磋琢磨するところが印象的で、全体的に明るい作品だったと思う。

椎名誠さん

大賞作品の映像化を期待  
大賞作品は、リレーで「つなぐ」との素晴らしさを明確に教えてくれた。先を走る選手は自分にとっての未来・希望である、リレーを通じてそのような気持ちを抱かせた作品。映像化を期待する。

早坂暁さん

作者の感性がよく出ていた  
『赤い黄信号』は、色彩が豊かな作品で、美術の世界に生きる作者ならではの現実に対する違和感や距離感がよく表現されていた。大賞作品は、他の審査員から「道徳的に素晴らしい」と評価され、登場人物はまさに「坊っちゃん」だったと思う。

中沢新一さん

優秀な作品が多く良い審査に  
いい議論・審査ができた。『日曜日の翌日はいつも』はアイデア・文章ともに優秀だったが、大賞作品は感情豊かな小説で、優秀な作品が出そうの中、審査員全員が推した坊っちゃん文学賞にふさわしい作品だと思う。

高橋源一郎さん

お問い合わせは、文化・スポーツ振興課 ☎ 948 6634 ・ FAX 934 1287

## 「この街で」ウェディング in 松山2014 参加カップル募集

「恋し、結婚し、母になったこの街で、おばあちゃんになりたい!」ということばから生まれた歌『この街で』の誕生10年目を記念して、総合コミュニティセンターの「この街で」モニユメントを舞台に人前結婚式を挙げるカップルを募集します。

【日時】平成26年6月28日(土)12時~13時30分(予定)

【場所】総合コミュニティセンター(湊町七丁目)コミュニティプラザ「この街で」モニユメント上

【内容】合同人前結婚式(披露宴なし)

【対象】夫婦または結婚予定のカップル(自薦・他薦問わず)

【募集数】5組程度

【費用】無料(挙式タキシード・ウェディングドレス・ヘアメイク着付・ブーケ、記念写真・集合写真・結婚証明書)

※事前打ち合わせなどの交通費は自己負担。結婚指輪は各自で用意。衣装に希望がある場合、一部自己負担あり

【応募方法】平成26年2月22日(必着)までに、郵送またはファクス、メールで結婚式を希望するカップルの住所、氏名、年齢、申込者の住所、氏名、年齢、連絡先、カップルと申込者の関係、続柄、原稿用紙1枚程度のエピソード・応募動機を〒790-8571都市ブランド戦略課内ことばのちから実行委員会「この街で」ウェディング係 [matsuyama@kotobanochikara.net](mailto:matsuyama@kotobanochikara.net)

【選考方法】書類選考の上、面談を行い決定

【結果発表】3月下旬に書面で通知

お問い合わせは、都市ブランド戦略課 ☎ 948 6952 ・ FAX 934 1844 ・ ことばのちからホームページ <http://www.kotobanochikara.net/>

各種手続き、家庭ごみ、道路など市政に関するお問い合わせは、松山市コールセンター (8~21時・年中無休) ☎ 946-4894 ・ FAX 947-4894 ・ 4894call@city.matsuyama.ehime.jp